

2 学年通信



江戸川区立瑞江中学校

第 2 学 年

令和 8 年 2 月 6 日 第 18 号

● 校外学習終了・・・「成功」でしたか？ ●

準備もいっぱいしていざ鎌倉へ。いろいろな心配事を抱えていたのは大人だけ？

一之江駅ではみんなが無事出発を確認できましたが、交通 IC カードをなくしたという人がいました。話を聞けば、その日なくしたのではなく、もうすでになくなっていたので・・・という話。当日朝はドタバタしたのは言うまでもありません。まあここは落ち着いて次へ進みましょう。

馬喰横山駅での乗り換えはクリアし、大半の班が北鎌倉駅で下車しました。カメラマンの佐藤さんとも合流し、2 つ目となるチェックポイントでの写真撮影。事前指導で「班員揃っての記念撮影を撮って送る」というミッションだったはずですが、いくつかの班が残念なことに、班員が映らずに駅の写真だけを送るというあまりうれしくもない写真でした。「話聞いてないでしょ！！」北鎌倉駅は学生ラッシュの時間を免れましたが、もうすでに予定どおりではない班も数知れず。(出発がやや遅れ)寒くて冷え込んでいましたが、前日の北風もなく、実に穏やかな校外学習日和となりました。大人もそれぞればらけての行動で、連絡を受けてから現地に向かうような場面がありましたが、さっそく高德院で体調不良者が出たとのこと。そちらに向かおうとしていた筆者でしたが、源氏山のハイキングコースがハードだったところに足の痛みが伴い、おまけにわざわざ遠回りをしてしまい、スムーズには向かえなくなり、ごめんなさいでした。ですが近所の方に声をかけていただき、様子を見てくださったようです。本当に感謝の言葉しかありません。駆け付けた養護教諭と共に行動し、班とは離れて残念なリタイヤとなりました。体調管理はしっかりと自己責任で、ということを改めて感じました。

野生のリスがいました。住宅街の電信柱を伝って軽やかに走り回っていました。「リスにえさを与えないでください」という立札がありました。住民にとっては野生動物とのよりよい共生を図りたいところです。人の都合で無責任なことはしないように、守ってくださいね。リスってなかなか狂暴ですよ。つめを立てて向かってきますから、あるリス村では、大きな革のミトンをつけて触れ合うようになっています。

長谷寺では早くも梅が芽を出し、一部では花も咲いていました。春はもう近いのでしょうか。長谷寺の和み地蔵が大好きですが、ここのショップでは「和み地蔵が大好きで通っているうちに、ここに勤めることができたんです」という店員さんとの出会いも新鮮。きれいな景色を眺めながらの一休みは本当に幸せ。

鎌倉へ来たら、学生時代から必ず寄っているところが鶴岡八幡宮です。なんと言ってもあの広々とした空気の中にいると、自然と心が落ち着く気がします。小さな迷いなんかはスーッと消えていくような、目の前がすっきりしていく感覚があります。日本中にある寺社仏閣はパワースポットともいわれるのですが、思わず納得してしまいます。心洗われて、いい気分になれましたか。

鎌倉駅で最後のチェックを受け、いよいよ帰宅します。往路のような緊張感はなかったかもしれません。ぐずぐずしていると夕方のラッシュに巻き込まれます。ほっとしてホームにきた列車に乗ってしまいました。みんなの悪い癖、自分で確認をしないことで大失敗。(この件、今での校外学習ではありえなかったです)乗るべき列車に乗らず、行先の全く違う列車に乗って、家とは違う方向へ相当遠くまで行ってしまったことになりました。ちなみに複数班だ

ったので、誰も気づかなかったようです。これも「みんな一緒」の危険ですよ。最後まで緊張感をもっていないと、とんでもないことになるということ、わかりますよね。

大人もお互いにすれ違う程度でしか会えませんでした。自分は生徒にもほとんど会いませんでした。が、なぜか一つの班だけは意識的にタイミングをずらしたのにもかかわらず、何回も何回も会いました。不思議なくらい。鎌倉でさえこんなですから、京都となればもっと広範囲の班行動になります。いざとなれば連絡は取り合えますから、自分たちのプランで充実した校外学習がもう一度できますように。

実はぼーっとしてしまう人もいました。なんとしおりをなくしたというのです。いったい何をどうすればなくなるのやら、「落としたのか」「なくしたのか」それも定かではありません。しかしとても大事なものを、必死になって探してください。みんなの個人情報も入っているものですから、簡単に済ませられるものではありません。次回はこういうことが絶対にならないようにしてください。その後、住宅街で落としたのでしょうか。住民の方が学校あてに現物を送ってくれました。「大切なものを拾ってしまった」と思ってくださったのでしょうか。ありがたいとしか言いようがありません。すぐにお礼状を書き、郵送料も含めて返信したのは言うまでもありません。こういう優しいおもてなしが日本人の心として、外国人や観光客にも届いているのでしょうか。みんなが日本のことが大好きという理由の一つでしょう。私たちが校外に出て「楽しかった」「よかった」と思えるのは、地元の人たちのやさしさに見守られているからということ、覚えておいてください。

たくさんの経験と学びのあった鎌倉校外学習でした。お天気に恵まれたことが何よりみんなの気持ちを高めてくれました。少しの感想・反省を紹介します。

・時間通りに行動できなかったり、昼食場所を変えたりと、計画していたこととは全然変わってしまったことが反省。事前にもっときちんと準備をしておけばよかった。

- ・事前学習が甘かった。見学地についての学習も明らかに不足。係として情けない。
- ・タブレット持ち歩くのは重くて大変だった。疲れて写真撮影を忘れたりもした。
- ・みんなで協力する場面が多くてよかった。
- ・写真を撮ることや、先生への電話連絡など、忘れることが多かった。
- ・時間配分がうまくいかずに、予定通りにいかなかった。変更が多すぎた気がする。
- ・見学場所ではもっとゆっくり、丁寧に見たかった。時間に追われてしまった。
- ・予想外のことにもしっかりと対応でした。でももっといい校外学習にできたと思う。
- ・他校生と話したりするのはよくなかった。気を付けたい。
- ・道に迷ってしまったので。地図を読めるようにしたい。
- ・教科書を見るだけではわからないすごさや大きさなどに気づくことができた。
- ・国宝や重要文化財などについて調べていかなかったのも、ミッションがクリアできなかった。
- ・現地の人は困っているときに話しかけてくれてうれしかった。

● 体調管理をしよう ●

最近、学年問わず欠席者が増えています。十分な睡眠、うがい手洗い、マスク着用など、改めてしっかりとしましょう。また、調子が悪いと思ったら、早めに受診すること。来週は、定期考査2週間前になります。体調が悪くなってしまうのは、自分ですから。